

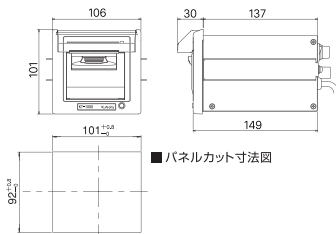
■ 主仕様

KS-Cシリーズ		
型式	KS-C7300-HT (横型)	KS-C7320-HT (縦型)
質量計測部	最大表示分解能 60,000目量 (注1)	
	通信回数 (対 D-LC) 約100回/秒 (注2)	
	最大接続数 8個	
表示設定部	質量表示 赤色7セグメントLED (13.6mmH) ×6桁	
	設定表示 緑色7セグメントLED (8mmH) ×9桁 (累計、上限、下限、品種、風袋、補正、不足、定量前2、落差、定量、定量前、過量、日付/時刻のいずれかを表示)	
	状態表示灯 ゼロ、安定、風袋引中、総量、ホールド中、排出計量、ゼロ付近、シーケンス中、定量、定量前、過量、正量、不足	
	設定キー 25キー (ON/OFF、ゼロ、総量/正味量、風袋引解除、印字、コード呼出、変更、日付/時刻、シフト、設定、終了/登録、クリア、O/累計、1/品種、2/風袋、3/補正、4/不足、5/定前2、6/落差、7/定量、8/定量前、9/過量、上限/次No.、下限/前No.)	
主要機能	制御機能 3段階充填制御 (定量、定量前、定量前2)、投入制御/排出制御切替可、自動落差補正、補充充填機能	
	質量計測 バランス判定機能、ゼロトラッキング機能、風袋引き機能 (ワンタッチ、テンキー、プリセット)	
	設定値登録機能 各種設定値を100種類登録 (バッテリーバックアップ付き)	
	バッテリーバックアップ 設定値、日時、風袋、ゼロ、累計メモリのバックアップ、非通電期間14日以上保持	
	加算機能 小計・総計を表示、および、データ出力	
	その他 個別ロードセル診断機能、自動四隅調整機能	
制御入力	フォトカプリアインレット×18ポート ※設定により下記信号を割付可 スタート、ストップ、ゼロ、風袋引き、風袋引解除、総量/正味量切り替え、ホールド、投入/排出制御切り替え、印字、小計印字、総計印字、小計クリア、総計クリア、コード選択 (BCD2桁)	
制御出力	フォトカプリアインレット×16ポート ※設定により下記信号を割付可 ゼロ付近、安定、定量前2、定量前、定量、計量完了、オーバーレンジ、エラー、正量、過量、不足、レベル上限、レベル下限、ゼロ異常、オートゼロ確認、印字確認、投入中/排出中、判定中、運転中、ホールド中、風袋消去中、総量表示中、正味量表示中、ヘルシー、総量出力中、計量シーケンス中	
RS-232C入出力	ホストCPU・プリンタ接続用・質量データ発信、各種設定値通信機能 (最大38.4kbps)	
プリンタI/F	オプションプリンタKJ-TH1000またはKJ-1000を接続すれば、計量結果と日時を印字出来ます。	
BCD/パラレル出力	K72-B8T:フォトカプリアインレット6桁BCD/パラレルデータ出力 (TTLレベル) K72-B8D:フォトカプリアインレット6桁BCD/パラレルデータ出力 (ターリントン)	
デジタルスイッチ接続	K72-B5:定量 (6桁)、定量前 (4桁)、落差 (3桁)、過量 (3桁)、不足 (3桁)、ゼロ付近 (3桁)	
シーケンス接続	K72-B6:バイト (BCD 2桁) シリアル入力	
4~20mAアナログ出力	K72-BA:負荷抵抗750Ω以下、精度0.1%	
RS-422/485入出力	K72-B9:絶縁型RS-422/485シリアルインタフェース	
リレー接点出力	K72-B4R:5接点出力 (AC120V/DC30V・5A)、出力信号は制御出力から選択可能	
CC-Link通信	K72-CC:CC-Link (Ver.1.10/2.00準拠) 通信インタフェース	
DeviceNet通信	K72-DN:DeviceNet (Release 2.0準拠) 通信インタフェース	
Modbus-TCP通信	K72-MT (Ethernet)	
Modbus-RTU通信	K72-MR (RS-485準拠/RS-232準拠)	
外形寸法	パネル面 192mm (W) ×96mm (H)	96mm (W) ×192mm (H)
パネルカット	186mm (W) ×92mm (H)	92mm (W) ×186mm (H)
奥行き	175mm (パネル内155mm、突起部除く)	
使用温度・湿度	-10℃～+40℃、85%RH以下 (結露しないこと)	
保存温度・湿度	-20℃～+70℃、85%RH以下 (結露しないこと)	
電源電圧	AC90～264V、50/60Hz	
消費電力	約10W	
製品質量	約2kg	

(注1) ただし、定格出力が600,000カウントのD-LCを使用した場合。
(注2) D-LC接続が1個の場合、2個の場合は約50回/秒、4個の場合は約25回/秒、8個の場合は約12回/秒となります。
(注3) オプションは最大2枚までスロットに装着することができます。● K72-B9 (絶縁型RS-422/485)、K72-DN (DeviceNet)、K72-CC (CC-Link)、Modbusのオプションを同時に2個使用することはできません。● 同じ種類のオプション基板を2枚同時に使用することはできません。
※本製品は計量法上の特定計量器ではありませんので、検定を受け「取引証明用」としてお使いいただくことができません。
検定を受け「取引証明用」としてお使いになれる場合には、別シリーズを準備しておりますので、販売店までご相談ください。

■ オプション ●ジャーナルプリンタ KJ-TH1000 (製品質量: 約1.3kg)

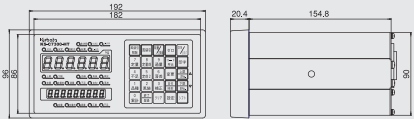
印字方式: 感熱ラインドット式 ロール紙: 感熱紙TP5838 (PD160R) (弊社品番: 5989-07129-0)



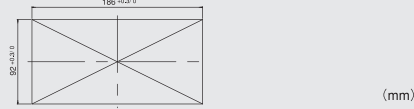
■ パネルカット寸法図

■ 外形寸法図

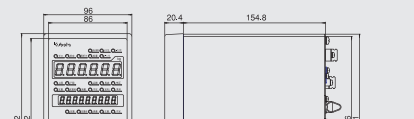
●KS-C7300-HT



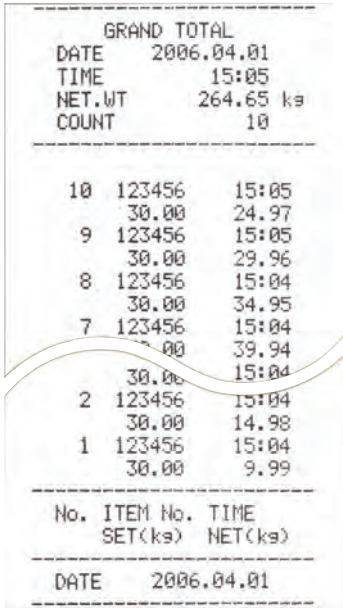
■ パネルカット寸法図



●KS-C7320-HT



■ パネルカット寸法図



●仕様、外観等は改良のため予告なく変更することがあります。

〈製造元〉

株式会社 **クボタ** 《精密機器事業ユニット》

ホームページアドレス <https://scale.kubota.co.jp/>

お客様ご相談窓口(コールセンター) ☎0120-732-058 (フリーダイヤル) 認: 当社営業日の8:30~17:00

〈販売元〉

株式会社 **クボタ計装**

東京支社 〒104-8307 東京都中央区京橋二丁目1番3号 京橋トラストタワー TEL (03)3245-3915 FAX (03)3245-3919

関西支社 〒581-0067 大阪府八尾市神武町2番35号 TEL (072)993-1885 FAX (072)993-1929

●札幌 (011)688-5497 ●神戸 (0178)47-3108 ●仙台 (022)287-3977 ●厚木 (046)244-4617 ●名古屋 (052)220-6600

●四日市 (059)390-7160 ●尼崎 (06)6415-7460 ●広島 (082)208-3828 ●福岡 (092)260-3420

ホームページアドレス <https://www.kubota-keiso.co.jp/>

No.1182.25.04.005.CH

クボタ D-LC指示計

KS-C7300 / 7320-HT

For Earth, For Life



タンク・ホッパスケール専用指示計

タンク・ホッパに搭載したD-LCの性能を引き出す充実機能。制御入出力・データ通信機能 (標準装備) やCC-Link、DeviceNet、Modbusなどにも対応し、外部機器とのコミュニケーションも大幅に拡張。



ISO-9001 品質マネジメントシステム認証取得
株式会社クボタ 精密機器事業ユニット



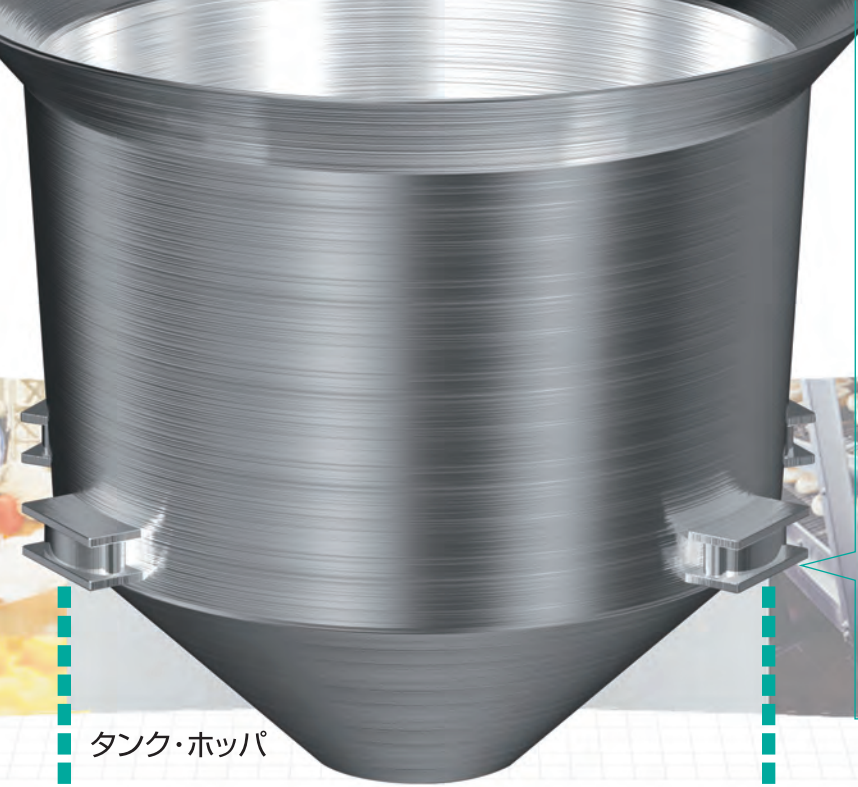
Digital
Easy
Hi-Quality
Usability
Network
Next Standard

KS-C7300-HT

KS-C7320-HT

D-LCタンク・ホッパスケールの能力を最大限に引き出す専用指示計 KS-C7300/7320-HTシリーズ

D-LC（デジタルロードセル）タンク・ホッパスケール用の専用指示計。デジタルロードセルの特長を活かせる機能を搭載して使いやすくなりました。もちろん、タンク・ホッパスケールとしての機能も充実しており、CC-LinkやDeviceNet、Modbusにも対応が可能です。



タンク・ホッパ

KS-C7300-HT

D-LCタンク・ホッパスケールのメリット



ノイズの影響を受けにくく、ケーブルの長さを変更しても出力に影響なし

デジタル信号のダイレクトな出力で動力源のノイズの影響を受けにくく、RS-485での長距離伝送が可能です。

IDナンバーで異常ロードセルの特定が可能

D-LC自体の故障やケーブル断線による通信エラーが発生した場合でも、指示計にD-LCのアドレスが表示されるため、不良ロードセルをすぐに特定できます。

指示計の交換やアップグレードも簡単

D-LCは質量値がデジタルなので、指示計の交換やグレードアップの際も設定値を入力すれば簡単に行えます。

出荷時にオールデジタル校正済み。IP67コネクタ接続で設置・取り替えも簡単

出荷時に全数「分銅による校正」を実施。分銅調整が難しいタンクやホッパに最適です。（適正に設置すれば、1/1000程度の精度であれば調整を省けます）設置の状態、配管などの外部からの影響を確認するために、分銅確認をおすすめします。また、IP67に準拠したコネクタ接続方式を採用しています。D-LCは、オールデジタル校正済みのため、アドレスを設定するだけで簡単にD-LC自体を交換することができます。



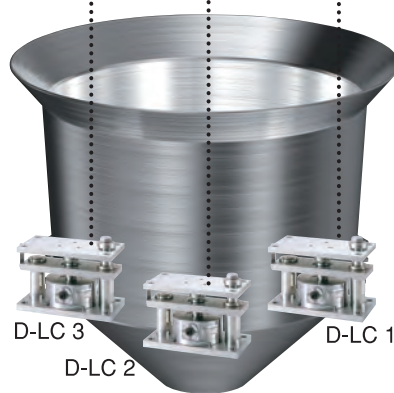
簡単操作でカンタン設定

① [通信設定]

指示計に接続するD-LCのIDと個数を入力し、D-LCにアドレスを書き込むだけです。

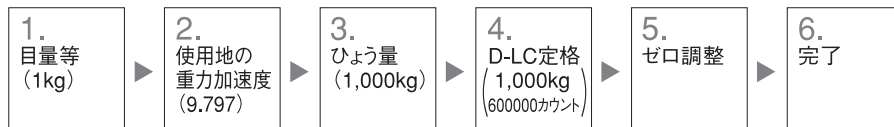


アドレス入力



② [重量調整]

指示計へ情報入力すれば、すぐに使えます。
（ひょう量1t 目量1kg LU-BD-1Tロードセル搭載で設置場所が大阪の場合）



- ① 重量表示部
高さ13.6mmの赤色高輝度LED搭載の読みとりやすい表示器を採用。
- ② 状態ランプ
指示計の操作・動作状態をランプでわかりやすく表示。
- ③ 設定表示部
キー操作により表示項目を選択可能。
- ④ 操作キー
わかりやすいキー配列と操作しやすい大きさにミスタッチを解消。



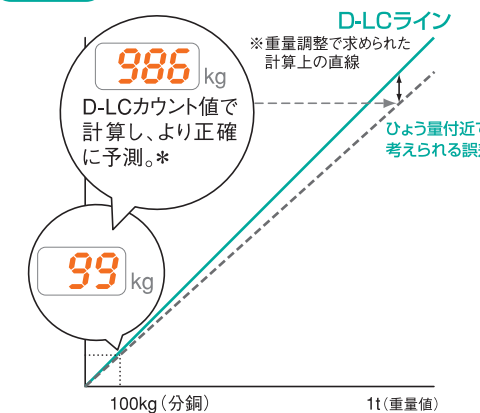
KS-C7320-HT



簡単操作でカンタンチェック

① [重量誤差確認]

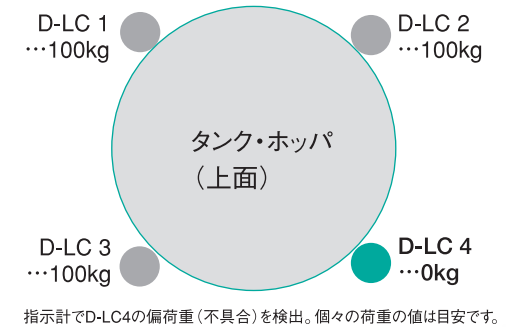
分銅積載スペースを確保できない場合、少ない分銅でも重量チェックをすることができ、タンク・ホッパスケールで発生する外的要因に起因する誤差を客観的に確認することが可能です。



*実際にひょう量付近の分銅を載せた場合の表示値は、予測値と異なることがあります。

② [偏荷重確認]

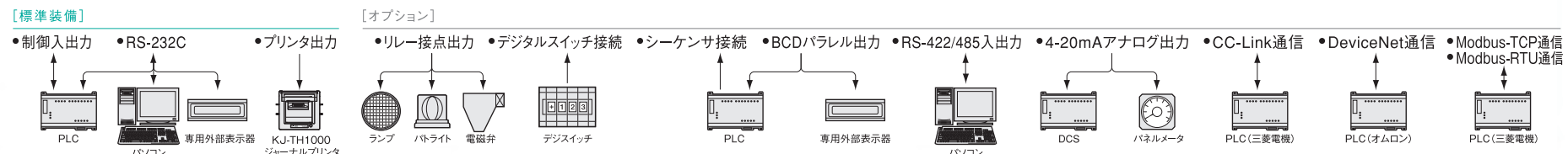
各D-LCにかかる荷重の値を個々に確認できるので据付時の偏荷重確認に活用できます。さらに、D-LCが故障した際の不良ロードセルの発見にも役立ちます。



指示計でD-LC4の偏荷重（不具合）を検出。個々の荷重の値は目安です。

外部インターフェース機能が充実

外部インターフェース機能が充実しました。データ出力や設定値入力、ネットワーク化が可能ならにオプションを選択すれば、さらに拡張性が高まります。



（注）オプションは最大2枚までスロットに装着することができます。●K72-BA（絶縁型RS-422/485）、K72-DN（DeviceNet）、K72-CC（CC-Link）、Modbusのオプションを同時に2個使用することはできません。●同じ種類のオプション基板を2枚同時に使用することはできません。

基本性能充実。PCからパラメータ設定も可能

〔シーケンスモード〕単純比較モードに加えて、2つのシーケンスモード（投入制御・排出制御）も標準搭載。用途に合わせて選択が可能です。

〔銘柄設定〕100種類の銘柄をメモリできて便利です。

〔パラメータ設定〕専用のPCソフトを使って、パソコンによる簡単操作で指示計にパラメータを設定できます。